

# 明日に向かって

## ともに創る 99

大船渡市長 戸田公明

### 吉浜太陽光発電所について

去る3月27日、吉浜地区拠点センターにて、新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者を地域公民館長の皆様などに限定して、太陽光発電事業の計画変更に関する説明会を開催しました。これは次の2つの趣旨から行ったものです。

1つ目は、荒金山と大窪山における太陽光発電事業計画に対し、昨年末、吉浜地区から反対署名簿提出を受けたため、市から事業者への旨連絡し、現況下では市有地の賃貸が難しいことを伝えたところ、事業者が住民生活と環境への影響を再検討し、事業計画を変更しました。その内容と、事業に対する市の基本的な姿勢について説明する必要があったためであります。

2つ目は、事業計画の変更により、事業者が太陽光パネル設置場所を大窪山に限定することとし、新たに大窪山（県立自然公園）での工事の許可を得るた

め、3月上旬に大船渡市に許可申請（土地賃貸借とは別の話）を提出しました。事業者においては、できるだけ早く、申請内容について、地域の皆さんに説明する必要があったためであります。

説明会の様子につきましては、当広報の「吉浜地区太陽光発電事業に関する説明会を開催しました」に掲載しておりますので、ぜひお目通し願います。

ここで改めて、太陽光発電事業に対する市の考えを述べさせていただきます。

①地球温暖化の影響として「豪雨・台風が多発など自然災害が毎年増加しつつあること」、「海水温上昇に伴い三陸沿岸の主力魚種であるサケ・サンマの漁場が遠隔化し漁獲量が減少しつつあること」などに見られるように、地球温暖化の抑止は全人類にとって喫緊の課題であり、再生可能エネルギー

ギーへの転換は不可欠である。

②太陽光発電事業は、地球温暖化対策になると同時に、「地元企業への工事発注により地元経済の振興につながる」と、「納税者が少なくなり続ける時代に、市有地を有効活用し税収増を図ることは市民サービスの維持・向上につながる」と、「事業者により地元へ利益還元がなされること」など、地域発展に資する。

③市内に適地があり、そこで発電事業を計画する企業があれば、計画が適切である限り実現に向けて支援したい。

④市としては、事業の意義、工事計画、市の対応などについて地域住民の皆様と説明を行い、理解を得るように努め、事業実施につなげたい。

以上が市の基本的な考え方であります。

4月17日、全国に緊急事態宣言が発せられました。新型コロナウイルス感染症対策の今後の推移を勘案しながら、住民の皆様を対象に説明会を開催したいと考えておりますので、ご理解・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

## 第66回大船渡市民芸術祭参加団体を募集

9月から12月までの間に開催予定の市民芸術祭に参加していただける団体やサークルを募集しています。

芸術文化活動の成果を発表する場として、市民芸術祭へ参加してみませんか。

舞踊や演劇、合唱、演奏会などの舞台芸術のほか、絵画や書道、華道、工芸などが一堂に会する総合美術展への出展など、ジャンルを問わず幅広く募集しますので、お気軽に応募ください。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により内容が

変更となる場合があります。変更となった場合はあらためてお知らせします。

▷応募資格＝市内で行われる芸術文化活動に関わる団体・サークル（主たる出演者および出展者に大船渡市民が含まれていること）

▷会場＝リアスホール、カメラアホール、三陸公民館など

▷応募締切日＝5月29日（金）

▷応募先／問い合わせ先

大船渡市民芸術祭実行委員会事務局  
【生涯学習課芸術文化係（☎内線288）】

